

## 協働事業プロセス相互検証シート

### 1 事業計画段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

お互いの立場や組織の違いを話し合い理解し、目指す姿を共有しながら、事業の目的を話し合うことができた。「協働」で事業を進めるということはどうあるべきかを共に考え、お互いの強みを生かして事業を進めることが大切であるという共通認識を持つことができた。

【今後改善が必要と思われること】

区における子育て支援の目指す方向性をしっかりと確認した上で、協働事業としての関係性がどうあるべきかを横浜コードの協働の原則に基づき話し合い、確認しながら計画していく。

### 2 事業実施段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

子育ての現状や課題を共有し、関係機関と連携を取りながら、事業の推進が図れた。

【今後改善が必要と思われること】

常に目的に合った実施方法となっているかを確認し、必要に応じて見直すとともに、事業の評価についても、適宜確認し合っていく。

### 3 事業の振り返り段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

各事業の目指す拠点の姿に向けて、区、法人それぞれの強みを生かして役割分担して取り組み、共有できた。

【今後改善が必要と思われること】

子育て支援についての目指す姿を確認し、効果的に事業を進めていくための手法を検討して、重点を置くべき点を絞りこんでいく。